

平成27年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	光・電磁波に相関する相転移物質の創成と新機能
研究代表者	大越 慎一
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>本研究は、分子磁性体の光制御で世界をリードしている応募者が、磁性体や半導体の光制御を可視領域からテラヘルツ領域にまで拡張し、光制御による第二高調波発生や非線形磁気光学効果の発現といった、電磁波などの外部刺激と新規磁性体や半導体の組み合わせで独創的な基礎研究を目指すものである。応募者はこれまで、光誘起相転移や電磁波吸収材の開発など世界最先端の研究成果を上げており、また、多くの知的財産権獲得の実績から、本研究の推進による新規機能性材料の開発が、基礎研究の深化・発展のみならず、産業界における技術革新へと波及することが大いに期待できる。</p> <p>以上により、特別推進研究に相応しい研究として採択すべき課題であると判断した。</p>